

まちづくり交付金 事後評価シート
白峰地区

平成21年11月

石川県 白山市

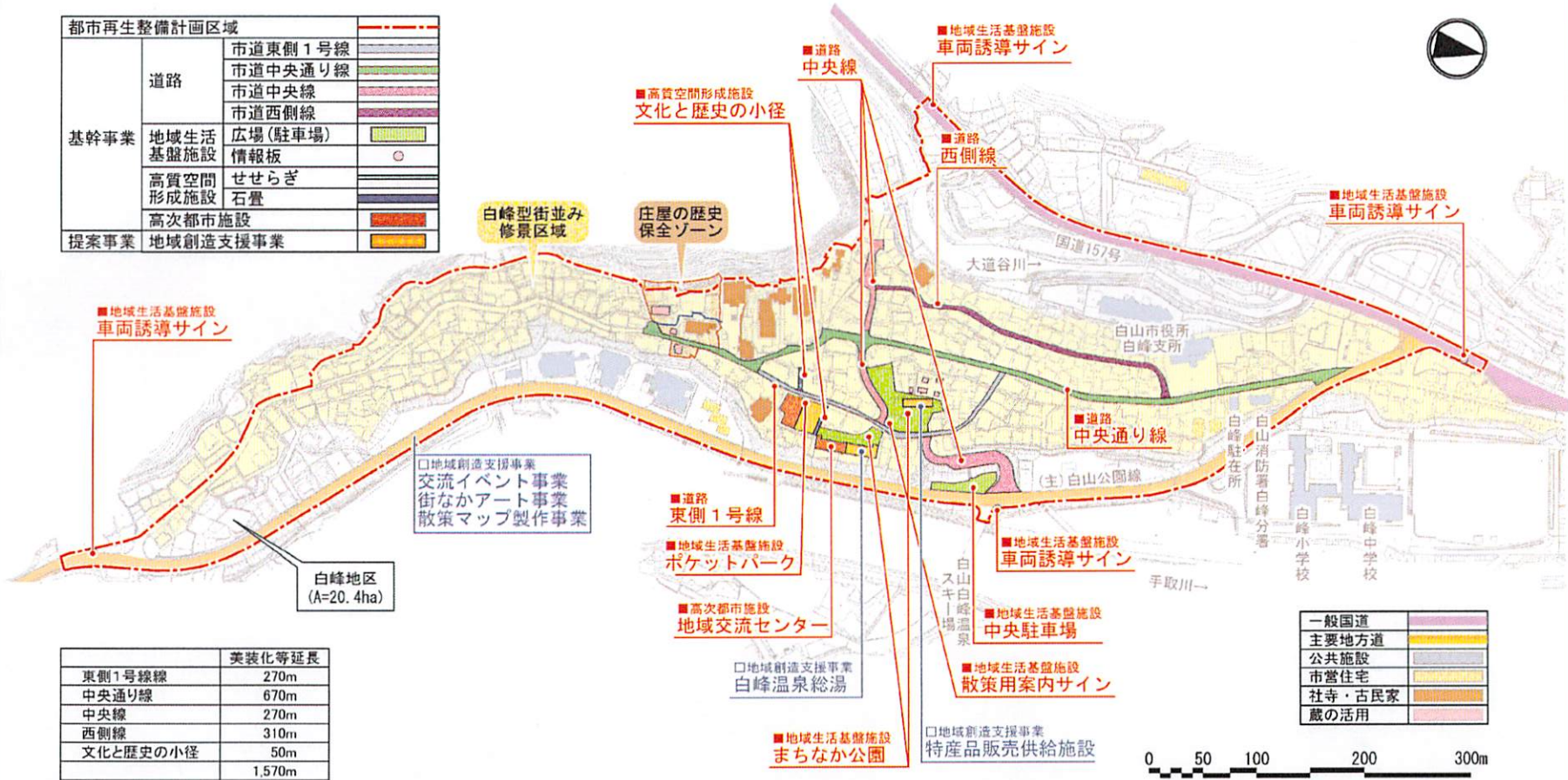
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	白山市		地区名	白峰地区			面積	20.4ha		
交付期間	平成19年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,007百万円	国費率	0.28				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設										
		提案事業	地域創造支援事業										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	無し										
		提案事業	無し										
		新たに追加した事業	無し										
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		無し							
	変更												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	全イベントの年間参加者数	人/年	8,000	平成17年度	12,000	平成21年度	-	12,900	○	あり	既存イベントの内容を充実させるとともに、地域資源を活用した新しいイベントを開催したことで、地区全体のにぎわい創出に寄与した。とりわけまちづくり交付金を活用した散策マップ、交流イベント各事業が功を奏した。	無し
	指標2	全観光施設の年間入り込み客数	人/年	257,000	平成17年度	308,000	平成21年度	-	256,150	△	あり	● 白峰地域全体の入込客数は数字上は下げ止まり傾向だが、スキー場や恐竜パークなどの大幅減少を考慮すれば上昇傾向といえる。白峰地区に限ればかなりの増加率を見せており、イベントなどと連携したにぎわい創出につながっている。	無し
指標3	年間宿泊客数	人/年	37,000	平成17年度	40,000	平成21年度	-	31,723	×	あり	● 白峰地区における観光客受入の環境は徐々に整っているが、昨今の「安・近・短」傾向、日帰り客増加、経済不況などの社会情勢及び宿泊施設の従業者高齢化、設備投資の弱さなどが響いている。	平成22年10月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	住民参画イベント開催件数	件/年	3	平成17年度	/		-	7	/	/	地域の活力を示す上で住民参画型イベントの開催は極めて重要であり、以前よりも数多く行われるようになったこと、それぞれに成果が上がったことに特段の意義がある。	
その他の数値指標2	白峰地区観光施設入込客数	人/年	73,490	平成17年度	/		-	100,919	/	/	まちづくり事業の中核である温泉総湯が爆発的な人気を呼び、周辺部への波及効果も与えた。今後、特産品販売施設、高山植物園と相まって、さらに誘客が進むと考えられる。		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・白峰型住宅を基本とした温泉総湯、地域交流センター、特産品販売施設の整備によって、家並み保存に対する住民意識が高まったほか、温泉・特産品・高山植物などCIに対する住民意識の浸透も図られた。 ・温泉総湯周辺のにぎわい創出に伴って、個々の営業施設の売上額が増加した。(個別ヒアリングから) ・地域の話題がたびたびマスコミに取り上げられ、誘客が進むとともに、イメージアップが進められた。 												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	無し		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	無し		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	住民有志によって構成する白峰雪だるまの里協議会を立ち上げ、協議会を開催したほか、同協議会ホームページの構築、協議会だよりの作成配布を行うなど継続的な住民によるまちづくり活動を実施。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	引き続き活動を継続、支援していく。				

様式2-2 地区の概要

白峰地区(石川県白山市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標】 温泉と伝統的街並みを活かした魅力ある白峰らしさの演出 (生活環境の向上に伴う交流環境の拡充～持続可能なスローライフのまちづくり) ① 伝統的街並みの保全と良好な居住環境(まちなか定住基盤)の形成により、利便性が高く、住む人が楽しみ・誇れる環境を整える。 ② 歴史、伝統、文化等、普遍的な地域資源のネットワーク化や交流拠点の整備等によって来街者の再訪を促す。	全イベントの年間参加者数	単位: 人/年	8,000	H17	12,000	H21	12,900	H21
	全観光施設の年間入り込み客数	単位: 人/年	257,000	H17	308,000	H21	256,150	H21
	年間宿泊客数	単位: 人/年	37,000	H17	40,000	H21	31,723	H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・かっちり、大切れ汁、おろしうどん、きさまなど、白峰地区独特の食文化を発信できたとともに、地区全体において飲食店の売上げが上がった。 ・住民参加型の雪だるままつりをはじめ方言大会の開催など、地域コミュニティの醸成が図られた。 ・白峰型住宅の普及率が年々高まっている。 ・白峰温泉総湯が癒しの拠点かつ観光の拠点となっており、温泉まつりや若葉まつりなど官民協働によるまつり開催等によって一層の賑わい創出が図られている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規イベントの検討、既存イベントの内容見直し、年間のプログラム化の推進を図ることで、食によるまちづくりさらには交流人口の増加を進める。また、効率的な広報宣伝活動を実施し、来訪者の増加を図る。 ・地域資源を活用した住民主導のまちづくり事業、官民協働によるバック商品の開発や学生誘致などを進めることによって宿泊客の増加を図る。 ・特産品販売施設内に観光情報機能を設け、来訪者の利便性を高めるほか満足度調査などを定期的にも実施し、将来のまちづくりの指針とする。